

## ■ 事業別の概況

### 電池事業

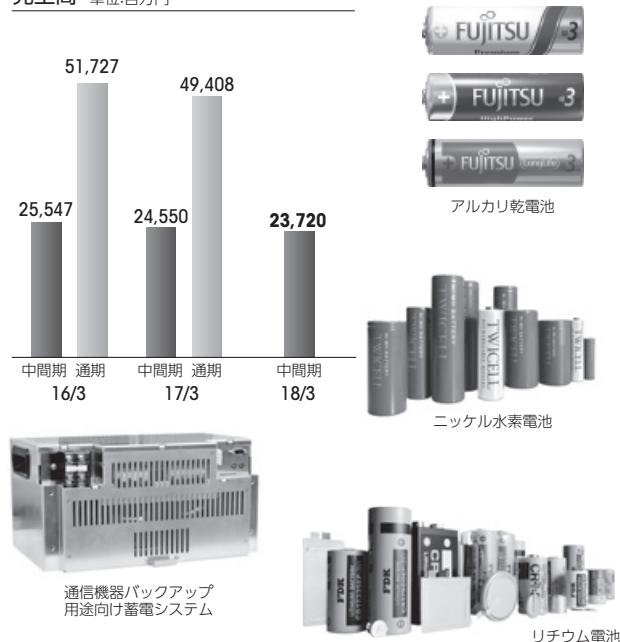
売上高構成比

**65.9%**  
(23,720百万円)

アルカリ乾電池は、インターネット販売用途向けやプライベートブランド販売用途向けが堅調に推移したものの、OEM販売用途向けの落ち込みとリニューアル発売した新製品の効果の発現に時間を要しており、前年同期を下回りました。ニッケル水素電池は、海外の市販用途向けが減少しましたが、非常用照明バックアップ用途向けなどの工業用途向けが堅調に推移し、前年同期並みとなりました。蓄電システムは、通信機器バックアップ用途向けが堅調に推移し、前年同期並みとなりました。リチウム電池は、国内の次世代スマートメータ・住警器用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。設備関連ビジネスは、自動車用部品組立設備が堅調に推移しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ8億29百万円減の237億20百万円となりました。

売上高 単位:百万円



### 電子事業

売上高構成比

**34.1%**  
(12,256百万円)

コイルデバイスは、車載用途向けやLED照明用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。積層パワーインダクタは、スマートフォン用途向けや産業機器用集積回路用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。セラミックス部品は、デジタルカメラ市場の低迷により、前年同期を下回りました。DC-DCパワーモジュールは、サーバ・ストレージ・ネットワーク機器用途向けが落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、タブレット用途向けが堅調に推移したものの、大型液晶用途向けなどが落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。スイッチング電源は、半導体装置用途向けが堅調に推移し、前年同期並みとなりました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ2億49百万円減の122億56百万円となりました。

売上高 単位:百万円

